

第3回中心市街地活性化協議会 指摘事項及び対応表

	指摘事項	第4回協議会対応内容
1	駐車場や家賃の高さと地価の推移との整合性がとれていないと感じる。	(p.6)最高商業地地価公示価格の比較を追加しました。
2	空き店舗対策を中心市街地活性化基本計画の中で、どのように盛り込んでいくか検討すべきである	(p.30)目標①中心市街地の経済活動の活性化(商業の活性化)の参考指標として空き店舗数を用います。
3	大規模商業施設を作るだけでは賑わいが出るとは言えない。大規模商業施設ができることによる周辺商店会への影響も踏まえ、対策が必要である	
4	大規模商業施設の撤退する事態は避けるべきであるが、大規模商業施設に売上が吸収されてしまうのも避ける必要がある。そのためには、特色のある商店街を作る必要があり、どのように実現するのか、検討すべきである	
5	空き店舗の要因はそれぞれ違うため、分析が必要である 福祉施設やコミュニティスペースとして活用するなど、何らかの対策を考えることが必要である。	
6	自転車走行空間の整備、トイレの整備、DMV等の新しい交通システムによる回遊性の創出、水素シティ・スマートシティ化の事業を中心市街地活性化の事業として検討できないか	
7	方針③の「文化・歴史」に関する事業が少なく感じるので、今後、対象事業を増やすべきである	・主要事業でないその他の事業については、内閣府ヒアリング後についても変更可能のため、引き続き検討してまいります。
8	府中本町周辺の観光振興、新交通システムの活用、東芝府中事業所との連携による水素社会等の目玉となるようなリーディングプロジェクトを検討すべきである	